



発刊にあたって



昨年9月に、アメリカ大手証券会社リーマン・ブラザーズが経営破たんして以降、経済危機が巨大な渦となって全世界を巻き込みました。その影響は今なお続いており、地域経済は厳しい状況にあることから、区は緊急経済対策や雇用・中小企業支援を実施しました。また、感染の拡大を続ける新型インフルエンザへ対応するために、「新型インフルエンザ対策行動計画」を策定するなど、区民の日常生活を守る施策を進めています。

一方、国立西洋美術館の世界遺産登録への推進や「したまちコメディ映画祭 in 台東」の開催、浅草文化観光センターの改築など、今後本区をさらに発展させるための取り組みも進めています。

このように日々の暮らしを守る施策と、将来を見据えた施策を着実に展開することで、「わがまち台東区」の将来の姿である「にぎわい いきいき したまち台東」を実現していかなければなりません。現在、区では、社会経済状況の変化や時代の変化を踏まえ、計画性や効率性を高め、より効果の高い施策・事業を展開していくため、長期総合計画の見直しを進めています。

よりよい区政を展開していくためには、本区の抱える課題や現在の状況について、今まで以上に区民の皆様と情報の共有を進め、強固なパートナーシップに基づいて取り組んでいくことが大切です。区政白書は、本区が取り組んでいる事業の一部について、その結果や進み具合を区民の皆様にわかりやすくお伝えし、情報の共有を進めることを目的として発行しています。

是非ご一読いただき、ご意見・ご感想などをお寄せください。

平成21年10月

台東区長 よし吉 ずみ住 ひろし弘